

兵庫県立はりま姫路総合医療センター

放射線診断・IVR科

指導担当医（役職）

川崎 竜太（診療科長）

実習概要

実習コース

2週間コースまたは4週間コース

概要

CT、MRIの画像診断や画像下治療（Interventional Radiology:IVR）の実際について理解を深めてもらうことを目的としています。画像診断では全身の正常解剖や代表的な疾患の画像所見について実際の画像を見ながら解説し、実際のレポート作成にも挑戦してもらいます。IVRでは実際のカテーテルやガイドワイヤーなどを用いた血管モデルでの操作体験、IVRに関連する基本的手技を解説するほか、希望者には実際の手技への参加を予定しています。

実習スケジュール

画像診断のみ、画像下治療のみの見学も可能です。現在のところはっきりとスケジュールは立てていませんが、学生さんの希望に応じて臨機応変に対応したいと考えています。

学生へのメッセージ

今回の実習では画像診断やIVR手技について学ぶとともに、一般病院での放射線科医の仕事について理解してほしいとも思っています。放射線診断・IVRはマイナーな診療科で常に人材が不足しています。しかしながらCT、MRI、PETなどデジタル画像診断機器は日々進歩しており、画像診断の果たす役割の重要度は増加する一方です。IVRについても我々放射線科医が主治医になって各種治療を行って

ますが、特に出血などの緊急疾患では他の診療科の先生の依頼でIVR治療を行うことも多く、自らの知識、経験、技術力が試され、かつ迅速に治療することが要求されます。講義や実習でも放射線科医と濃密に接する機会はすくなかったのではと思いますが、この2週間で画像から疾患の診断を下すことの楽しさや難しさ、複雑なIVR手技をやり遂げた時の達成感を学生の皆さんと共有したいと思います。

また放射線科を将来の選択肢のひとつと考えている方は、魅力ややりがいを感じるかを見極めるよい機会であるとも思っていますので、たくさんの学生さんが参加されることを期待しています。